

●中聖牛設置 12月5日 33名 晴天

河原に設置した中聖牛に竹蛇籠を載せて石を詰める作業をしました。

里山の会からは事務局メンバーのほか、里山農園で活動している方など14名、京大からは竹門先生他1名、摂南大からは石田先生他学生4人、奈良女からは田中先生、同志社からは2名、澤井先生、寝屋川水辺クラブ、井手町から2名、高松市から1名、京都市から2名、大阪市から1名の方が参加しました。

8時半に大村、有田、太田さんで草内の倉庫に集まり、荷物を2台の軽トラに載せて出発しましたが、動き出して300mほどで里山の会の軽トラが動かなくなりました。荷物は主に大村さんの車に載せて、軽トラは自動車屋さんで牽引して運び入れました。クラッチの故障ということでしたが、昨日修理を終えました。



中聖牛の作業は9時半から予定どおり、最初に竹門先生のこの取り組みについての説明のあと、皆さんの自己紹介で始まりました。作業は有田さんの呼びかけで、ほぼ1時間ごとに休憩を入れて進めることができました。昼食はコロナの関係で、弁当持参ということになりましたが、女性陣が里山の会の炭を使ってお湯を沸かしてくれ、お茶とスープ代わりにカップ麺、それに市販のおにぎりを用意しました。午後の作業も順調に進み、午後3時の終了時には3基の中聖牛に載った竹蛇籠にほぼ石が入れ終わる状態までになりました。皆さん、作業お疲れ様でした。

●中聖牛設置、竣工式 12月6日 44名 晴天

2日目も里山の会から17名、子供たち数名、国交省から日下課長他4名 京大からは竹門先生他4名、摂南大から石田先生他学生4名 BY ネットから2名、東京から1名、城陽市から2名、宇治川漁協、それに報道から、京都新聞、朝日新聞からも来ていただきました。

昨日に引き続いて中聖牛の石詰めと、3基の中聖牛の前、横などに砂払いの石を積み上げて、11時の竣工式までに作業は終わりました。竣工式では、関係者全員での記念撮影のあと、大村副理事長からのあいさつ、竹門先生から中聖牛設置の経



緯や目的などの説明、淀川河川事務所の日下課長よりの祝辞などがあり、11時半ごろには終了してお昼の休憩に入りました。お昼には昨日同様の温かいお茶、カップ麺のほかに、福井さん手作りのケーキや、伊藤さんのサンドイッチも頂きました。

午後からは8メートルの竹蛇籠3本に石詰めをする、水の中に入っただけの作業になりました。

里山の会、京大、摂南大、河合さん、前川さんなど20人ほどが川の中に設置した竹蛇籠に石を詰める作業をリレー形式で行い、3時には3本の竹蛇籠全てに石を入れ終えて終了しました。作業中、福井さんも来られて飲み物の差し入れを頂きました。

中聖牛、竹蛇籠設置、すべての作業を事故なく終了できました。

5年前の竹蛇籠づくりから静岡県原小組の指導で始まって4年間連続の中聖牛設置ですが、今回は専門家の助けを借らずに里山の会だけで中聖牛の骨組から仕上げる事ができたのは素晴らしい画期的な成果でした。

●中聖牛設置の報道記事

5日には洛タイ、7日には朝日新聞、9日には京都新聞が取り上げて下さいました。



年末までの予定

- 12/11 9時半から竹蛇籠製作現場の片付け。竹の処分は国交省の伐木業者に依頼。
- 12/15 農園作業のあと、午後からヤマトサンショウウオの池の整備。播川、金田、森島ほか
- 12/17 午後、同志社大の都築くんなどと、学生ボランティアについて Zoom 会議
- 12/26 昆虫観察会としめ縄作り 昆虫観察会は定員オーバーの申し込みがきて断っている。
- 12/27 9時半からハイキングコース清掃。播川、森島、有田、太田。午後大村さんが車で迎え。
- 12/28 事務所の大掃除